

# 鈴木忠義事務局長 追悼



175号

新日本美術協会

事務局

千葉県柏市大津ヶ丘  
3-17-17-401  
森屋治三方  
TEL04-7191-6760

編集委員

石原 修  
早田美智子  
篠 光定  
湯澤朱美

原稿常時募集

次号令和3年11月予定

## 事務局長を偲ぶ 代表 森屋 治三

鈴木忠義事務局長が、去る令和三年三月二十八日、享年七十七歳にて逝去されました。ご体調を案じていた矢先の、思いがけない突然のご逝去に、未だ信じられない気持ちでいっぱいです。

鈴木氏は永年にわたり会計委員、事務局長などの会務を担当し、運営の中核として手腕を発揮され、新日美の礎を築いてくれました。

また、絵に対しては常に真摯に向き合い、より高いところを目指して励まれておられました。

ある時、師と仰いでいた、中尾不二夫初代会長から「上手な絵を描く作家は数多くいる。まず心掛けるべきは、上手な絵をではなく、自分らしい、あるいは自分の思いが、絵の中に表現されている作品になるよう心掛け制作するべきだ。」と教えを受けたそうで、「この言

葉を糧に、楽な絵を描こうとは思わないし、悪戦苦闘しているのが常です。」と話されていたのが印象に残っています。

未曾有の困難が世界を覆う中、芸術のため、新日美のために尽くされてきたさなかに、幽冥界を異にする世界に旅立たれました。

絵をこよなく愛し、新日美を愛した姿を、忘れることはいきません。

「鈴木さん、ご安心ください。私どもは、鈴木さんの遺志をくみ、皆で力を合わせ頑張ります。」

心よりご冥福をお祈りします。

## 委員コラム

### 映画「HOKUSAI」を観て

早田 美智子

コロナ禍の緊急事態宣言中でしたが、映画「HOKUSAI」を観てきました。

日本が誇る「世界の北斎」です。生涯で三万点も描いたというから驚きですが、それにしては大器晩成過ぎませんか。大当たりした「富嶽三十六景」の制作は七〇歳を過ぎてからです。売れようが売れまいが只描きたいから描く。若き日の苦悩と情熱、病を克服し死の直前まで描き続けた姿を、多彩な俳優陣が見事に紡いで見せてくれました。

既に人気絵師だった歌麿からは、「お前さんの絵には色気が無え」と馬鹿にされ、突如現れた少年のような写楽に「こんなのは絵じゃ無え」と絡むも「私は心の赴くままに描いているだけです。何かお気に障りましたか?」などと言われてしまふ…。

何たる屈辱! 若き北斎は旅に出、野山を彷徨い、やがて運命の海に出会います。砂浜に両手の指を突き刺すように広げ描き始めます。かの「波」を掴んだ瞬間、と見えましたが、代表作となる「神奈川沖浪裏」の発表はそれから数十年後です。

### 富嶽三十六景

葛飾北斎



凱風快晴 (赤富士)



神奈川沖浪裏

映画の終盤、北斎は飛ぶように売れ、かの「赤富士」(凱風快晴)も店頭に並びます。ふと過日亡くなった新日美の鈴木事務局長の絵が重なりました。毎年新日美展の一室を飾ってきた「富士山」は一〇〇号です。頭の中で北斎の「赤富士」が一〇〇号に拡大され鈴木さんの絵の横に並びました。映画も美術も「不要不急」ではないようです。